

平成30年度第3回

鳥取市社会教育委員会議、公民館運営審議会及び生涯学習推進協議会 議事録

日時：平成31年3月28日（木）午後3時～午後5時

場所：鳥取市役所第二庁舎 第一会議室

出席者：〈委員〉岡本委員、油谷委員、山下委員、塩谷委員、西尾委員、山本委員、
田島委員、土井委員、前田委員、西上委員、谷口委員、綱本委員、
藤井委員

欠席者：〈委員〉山本亨委員、竹森委員、松本委員、山根委員、河上委員、岸本委員、
大西委員

〈事務局〉生涯学習・スポーツ課：神谷次長、河井参事、山本主幹、大下主事、後藤主事、
長谷主任

協働推進課：宮崎補佐、平野主事

1 開会 午後3時

2 あいさつ （土井会長）

3 議題

（1）報告事項

- ・地域学校協働活動推進事業の進捗について（事務局説明） 《資料1》
- ・地域組織のあり方検討を踏まえた試行的な取り組みについて
（事務局説明） 《資料2》

〔議長〕事務局の説明について、委員の皆さんからご質問ご意見があればお受けいたします。

〔委員〕美保南地区に推進員が配置されているが、公民館のどこに配置されているのか。また、配置されてすぐに仕事があるのか。

〔事務局〕推進員の仕事内容としては、学校支援ボランティア（地域の方）と一緒に活動を行いながら、学校支援ボランティア（地域の方）と学校のネットワーク化に向けての組織の構築、学校からの要望やボランティア（地域）からの要望を聞いて連絡調整をしている。

〔委員〕現在のモデル地区は湖南地区と美保南地区となっているが、推進員の任命にあたっての条件は何で、どんな人になっておられるか。また、活動事例があれば教えてほしい。

[事務局] 文科省が示している推進員として望ましい方とは、地域の方や PTA の OB、学校関係者など地域と学校との関わりが深い方が望ましいとなっている。美保南と湖南の推進員は 2 人とも P T A 経験者が推進員となっている。

事例としては、湖南の場合は学校と地域が共通したビジョンを一緒につくるといふことをされた。学校関係者と各地域の代表者（老人クラブ、民生委員など）が集まって、どういう子どもたちを育てていくか話し合いをされた。

[委 員] 推進員の任命はどうしているか？

[事務局] 学校長と公民館長の推薦をいただくように要綱に定めており、その推薦をもって教育委員会が委嘱をしている。委嘱内容は時給 1,000 円で活動に対する謝金を支払い、週 19 時間以内で活動をしていただいている。

[委 員] ①公民館活動の中に「誰もが生涯にわたり必要な学習を行い」とあるが今の公民館が取り組んでいるサークル活動のことを言っているという理解でよいか？

②平成 31 年度に地域組織のあり方検討という新しい取組が提案された。これは、協働のまちづくりという概念が導入されてから 10 年が経過して、急速な人口減少や少子高齢化、地域課題の多様化、地域のつながりの希薄化、人材や資金の不足といった課題が解決されるような方策がこの組織の中で提案されるような取り組みがなされるという解釈でよいか？つまり課題ははっきりしているが、この課題がどういう方法で解決されるという見通しをもっているかというところが少し心配である。

[事務局] 2 つ目の質問についてですが、地域において住民自治を進めるうえでは、高齢化は避けられないことであり、人口減少は鳥取市の試算で 2040 年には 16 万 6 千人を見込んでいる。この現状を悲観的になるのではなく、現状を把握したうえで各地域にあった活動を進めていくことが重要と考えている。たとえば佐治でも検討を進めていただいているが、佐治地域では合併時人口が 3 千人程度だったが、合併して 15 年経過した現在は 2 千人を切って人口が 30% 減少し、高齢化率も 50% に到達しようとしている実態を地域が把握して、どんな活動が必要かを地域で検討・確認しながら活動を進めておられる。先ほどの課題を解決する答えはこれですよということは、現時点で行政として出せる状況にありませんが、それぞれの地域に必要な活動を考えていただくための支援（方策）のあり方を考えていく必要があると考えている。

[委 員] 関連しての質問ですが、資料②のまちづくり協議会と地区公民館に関する補助金等の一括交付については、経費は一括になるが全体枠は変わらないということでしょうか。

[事務局] 試験的な取り組みですが、一括交付となっても減額することなく全額を交付するように制度設計を進めています。

〔委員〕 それと、公民館の職員が色々な団体の事務をしている現状があると思う。
公民館職員の仕事の明確化を進めてほしい。

〔事務局〕 これも、実態を確認はしておりますが、例えば公民館長が色々な団体の役
と兼務されていたり、公民館は地域の団体の育成支援の役割もあり地域によっ
てかかわりの度合いが違う状況。行政の方から一律の方針が出せないため、地
域の実状に合わせたやり方でやっていただいている。過度な部分があれば見直
していく必要があると考えている。

〔事務局〕 1つ目の質問についてですが、誰も生涯にわたり必要な学習を行いという部
分ですが、そういったことができる生涯学習社会の実現が必要であり、その1
つとして公民館のサークル活動が該当すると思います。従前からよくいわれて
いる学びの循環・学びの成果を地域に還元していける生涯学習社会の実現を目
指している。公民館事業にあたっては参加した人が学びの成果を地域に還元で
きるサークル活動や講座などを計画していくことが必要。

〔委員〕 県が携わっている生涯学習としては、以前は県民カレッジでいろんな情報
伝達や地域のリーダー育成をしていたが、今は事業を実施するだけで終わっ
ているように感じる。少なくとも各地区公民館で一生懸命やっているサークル活
動は資源という方向で育ててほしい。

〔議長〕 このような意見を次のワークショップで色々出していただければと思いま
す。公民館がいま何をすべきなのか、まちづくりと公民館の中におけるまちづ
くりと社会教育をどうやってうまく反映させればいいのかということが、ここ
10年間課題になっていて、この辺りについても次のワークショップでご意見
をいただきたいと思います。

(2) 協議事項 (ワークショップ)

- ・社会教育委員会議の振り返りと今後の取り組みについて (事務局説明)

《資料3、関連資料1～3》

〔議長〕 社会教育委員としての任期も5月末までなっており、任期中の会議は本日
が最後の会議になります。2年間の活動の総括と議論をしてきた社会教育・公
民館の状況や協働のまちづくりが導入されてからの10年間を振り返るワー
クショップを行います。資料3をみていただきながら、事務局より説明をお願い
します。

〔事務局〕 資料3を説明。

3 グループに分かれて①～③のテーマについてワークショップを実施

- テーマ1：今期の取り組みを通じての感想と課題について

[会 長] 2年間の大きな取り組みとして、社会教育委員会議の答申を出したことで地域学校協働活動の推進があると思います。

◆各グループでの意見の発表

[グループ1]・社会教育委員の認知度が低く、地域に知られていない状況にある。

- ・委員としての活動や発表の場がない。
- ・公民館の業務量が多く、新たな活動への取り組みがやりにくい。

[グループ2]・公民館の業務が多く苦慮している。

- ・地域学校協働活動について、小学校区の方が中学校区に比べて地域との距離が近く感じる。中学校と地域の関わりをどうするか。さらには、地域によって学校との距離感が大きく違うので難しいのでは。
- ・答申を出したが、その内容を教育委員会がどう生かして取り組んでいくのかを注視する必要がある。

[グループ3]・公民館は広範囲にわたるため、地域によって課題に違いにありその課題解決をどう進めていくか。

- ・地域住民のつながりの希薄化が進んでいる。若い世代で町内会にも未加入世帯が増えており、地域住民との関わりを求められていないのではないかととらえられる。そういった点を重点的に考えていくべきではないか。

●テーマ2：この10年間の社会教育と公民館を取り巻く現状と課題について

[グループ3]・公民館では毎年ほぼ同じような事業をやっているので、職員の育成や事業の見直しが必要。

- ・サークルや各団体の後継者不足が顕著に出てきはじめている。

[グループ1]・利用者は以前と変わらないが、公民館の貸館業務の線引きが以前に比べてはっきりしている。公民館によっては会場の取り合いになっている館もある。

[グループ2]・社会教育とは？公民館とは？をもう一度整理する必要がある。

- ・まちづくり（自治）との切り分け、すみわけを明確にする必要がある。
- ・公民館活動も大人を対象とした事業が多くあるイメージ。地域学校協働活動推進事業が進んでいくことで、子どもと地域が交流する場が増える期待がされる。
- ・10年経過したまちづくり協議会の成果と課題について。人がどうつながってきたかを確認する必要がある。
- ・先進地の事例も聞いてみたい。

[会 長] このグループでは、公民館職員の多忙が意見として随分あげられていた。切り分けができていないから業務の多忙の状況が蔓延している。10年間のうちで問題点が残ったままになっている。

●テーマ3：今後の社会教育委員の活動について

[グループ1]・求められているところに出向くことが必要。出向くためには、どこに求められているかを探さないといけない。しかし探す手立てを考えるのが難しい。負担に感じる。

- ・自分が住んでいる地域でも、社会教育委員として意見・活動がやりにくい。

[グループ3]・自分の地区以外の地区をどうやって見ていくか。

- ・意見を出し合う場があればいい。
- ・社会教育委員の会議自体の、委員のメンバーの編成や開催時間など集まりやすい環境づくりや会場を公民館で開催してはどうか。

[グループ2]・構成員の選出方法の見直し、公募委員を増やすなどをやってはどうか。

- ・活動場所に出向いて実態を把握することで、会議での発言もしやすくなる。
- ・委員の役割の整理と再認識が必要。

[会長] 時間の関係で内容を深めることができませんが、みなさんから出た意見をまとめるのではなく、各グループで出た意見をそのまま残していく、集約できるものは集約して意見として残していくということによろしいでしょうか。

テーマ1については、やってきた成果がどう市政に反映されるか、テーマ2については、10年間で社会教育・公民館とまちづくり協議会との関係性が課題になっていることに対して、「社会教育とは?」、「公民館の業務とは?」をもう一度整理する必要がある。そこをやらない限り、社会教育を自信をもってできないと危惧している。もっと自主的な社会教育とは何なのか。その辺をお互いに勉強し合いながら地域づくり・自治づくりをどう進めていくかということを考えていく必要がある。テーマ3については現場を知り、具体的なところで動いていく必要がある。

(その他) 鳥取市PTA連合会補助金の制定について(事務局説明)

[委員] 合同事務局はどこに設置するか?

[事務局] いまPTA連合会と調整しているが。業務内容に応じて、たとえば事務所を通年で設置する必要があるか学校内に一時的な設置でいいのかということもあるので、そういった具体的な話についてはこれから詰めていく。

[委員] そういった大きな事務局があれば、先生の負担も減るし、PTA連合会会長の成り手もでてくる。そういった点からもお願いしたい。

〔議 長〕 補助金額が少ないのではないか？と個人的には思う。意見としてお伝えする。PTA 連合会合同事務局を設置するという方向としては全く賛成なのでぜひお願いしたい。

〔議 長〕 では以上で審議を終了し、進行を事務局にお返しする。

4 閉会 17時